



ねり丸区消費者だより

ぷりずむ

練馬区公式アニメキャラクター ねり丸 ©練馬区

第253号

消費トラブル処方せん

知っておきたいキャッシュレス決済の
基礎知識(上)P2~3

くらしサポート情報

価格や品質だけではない
新しい消費の仕方「エシカル消費」P4~5

お知らせ

消費生活展のご案内 P6

電気通信サービス

こんな場合どうすればいいの？

Q

まったく身に覚えのない
料金請求のメールが
何度も届くのですが、
支払う必要はあるの？



A

無視しましょう。

まったく契約した覚えがなければ、支払う義務はありません。



編集・発行 ●練馬区経済課(消費生活センター)

練馬区石神井町2-14-1 電話: 03-5910-3089

編集協力 ●練馬区消費生活センター運営連絡会

練馬区ホームページ: 練馬区消費生活センター

検索

消費生活相談専用電話 03-5910-4860 (月~金 午前9時~午後4時30分) ※土・日曜・祝休日・年末年始を除きます。

知っておきたい キャッシュレス決済の基礎知識(上)

キャッシュレス時代到来～背景とこれから～

山本国際コンサルティング ■ 山本正行

キャッシュレス決済について、その背景と使い方を2回シリーズで特集します。

「キャッシュレス決済」とは何でしょうか？

～現金を使わずに決済する方法のことです

CMや大掛かりなキャンペーンで話題のスマートフォン決済のほかに、これまでも多くの人に使われてきたクレジットカードや電子マネーなどが含まれます。実際に利用されているキャッシュレス決済をみれば、スマートフォン決済よりも、クレジットカード(最近はデビット方式のカードも増加)、Suica や Pasmao などの電子マネーなどの利用が圧倒的に多く、今後もその状況が続くと考えられます。

政府はクレジットカードや電子マネー、スマートフォン決済などの「キャッシュレス決済」が利用できる場所を増やし、2025年には商店街や街中の中小店でも便利に利用できる環境を整え、すすめていきたい考えです。



政府がすすめるのはなぜでしょうか？

～キャッシュレス決済で遅れをとった日本を先進国へ

2020年の東京オリンピック、2025年の大阪・関西万博などに向けて日本に訪れる外国人は増加の一途をたどっています。多くの外国人にとって日本は魅力的な目的地です。一方で、「カードが使える場所が少ない」という外国人の意見が多く、これについては日本人が得意とする「おもてなし」の意にも反し、問題だと指摘されています。

個人の支出のうちキャッシュレス決済の比率は、中国の55%、アメリカの41%に対し日本は18%(2015年)で、日本がキャッシュレス比率で遅れをとることが明らかになっています。

そこで政府は期限を2025年に定め、日本の



キャッシュレス比率をアメリカ並みの40%まで引き上げようと考えました。まず、外国人がよく使うクレジットカードやデビットカード、スマートフォン決済が利用できる店舗を大幅に増やすことが重要ですが、キャッシュレス決済サービスに対応する店舗が増えれば日本人のキャッシュレス比率も増

えるわけです。これにあわせて Suica や Pasmao などの電子マネー、各種スマートフォン決済などの日本人向けサービスも普及させることになります。この背景には、日本を世界で最もキャッシュレス化が進んだ国にまで発展させたいという政府の思いがあるのです。

キャッシュレスの普及で変化はありますか？

～消費者と店舗への優遇へ

キャッシュレス決済を利用する消費者や、キャッシュレス決済に対応する店舗などが優遇されるようになります。例えば、政府は消費税増税時に中小店でキャッシュレス決済を利用すると、利用者に2～5%のポイント付与またはキャッシュバックすると発表しています。これはキャッシュレス決済を利用した人のみが対象となり、現金で支払った人は対象になりません。これまでキャッシュレス決済に対応していない中小店が新たに対応する場合に決済端末装置などの費用を助成する制度も始まります。なお、これらの優遇策は一定期間の実施をもって終了します。

スーパーなどの比較的繁忙な店舗に対してキャッシュレス専用レーンの設置を推奨（あるいは義務付け）する検討もなされています。もし実現すれば、高速道路のETCレーンのようにキャッシュレス決済の利用者は専用レジで素早く処理され、現金対応レーンには長い行列ができる、ということが起こるかもしれません。



流通業や大手飲食チェーン店の一部に「現金お断り」店舗を始めているところがあります。現段階では実験レベルですが、支払方法をキャッシュレス決済に限定することで店員の負担を軽減し、

運営コストを低く抑えようとする事業者も増えています。

これ以外にも2025年にかけてキャッシュレス決済を推進するさまざまな動きがあるでしょう。

それでも現金取引は残る

～バランス感覚が重要です

2025年にキャッシュレス比率が40%になったとしても、残りの60%は依然として現金取引のまま残ります。キャッシュレス決済は災害時や停電時に店舗の機械が動かずに利用できないという問題もあります。昨年札幌で大規模な停電があり、その際に現金での支払いができないお客さんの宿泊を断ったと言うホテルもありました。

このような事態に備える意味でも、キャッシュレス決済が普及しても一定の現金は予備として持っておくべきでしょう。

キャッシュレス決済が普及すれば便利になりますが、だからといって現金を全く持たずに生活ができると考えることはいささか早計です。今後はキャッシュレス決済を便利に利用しながら必要最低限の現金は持っておく、というようなバランス感覚が重要ではないでしょうか。

7月号では この続きとしてキャッシュレス決済サービスの事例や利用上の注意事項について解説いたします。

価格や品質だけではない新しい消費の仕方 「エシカル消費」

環境や社会に配慮した製品やサービスを選んで消費することを「エシカル(ethical= 倫理的・道徳的)消費」といいます。

エシカル消費とは？

商品の作られた背景や社会状況、環境負荷が低い、廃棄まで配慮して生産されたものなどを「考えて買う」ことで、消費を通して社会貢献を担おうという考え方です。

— 子どもの7人に1人が働いています。 —

チョコレートの原料であるカカオ豆の生産地の西アフリカ地域のカカオ農園では、数10万人の子どもたちが働き、しかも64%が14歳以下という調査報告があります(日本に輸入されるカカオの7割はガーナ産)。

また、インドのコットンの種子栽培地域でも、約40万人以上の子どもたちが働き、その7~8割が女の子だと言われています。子どもたちは炎天下で過酷な労働をしているだけでなく、農薬による健康被害も問題となっています。

(NGO ACE(児童労働の撤廃と予防に取り組む国際協力非営利団体)の報告)



具体的に何を考えたらいい？

エシカル消費をする時の考える視点と、商品購入時などに参考となる認証マークを知っておきましょう。

1 社会や人への配慮

背景と商品の選択方法

- ① 不当な児童労働による搾取がある
 - ▶ 児童労働や発展途上国での不適切な労働環境で作られた商品を選ばない
- ② 障がい者の労働を受け入れない社会状況
- ③ 低賃金、長時間労働など、不適切な生産現場
 - ▶ 適正な値段で原料や製品が購入され、その値段に見合った価格で販売されている商品を購入する

- ▶ 障がい者を積極的に雇用、障がい者の活動を支援しているといった企業や事業所の商品を購入する

知っておきたい言葉

●フェアトレード



® 国際フェアトレード認証

開発途上国の原料や製品を適正な価格で継続的に購入することにより、立場の弱い開発途上国の生産者や労働者の生活改善と自立をめざす認証ラベル



2 環境への配慮

背景と商品の選択方法

- ①生産から廃棄まで環境への配慮がなされていない

▶環境負荷が少ないものを選ぶ



エコマーク

「生産」から「廃棄」にわたるライフサイクル全体を通して環境への負荷が少なく、環境保全に役立つと認められた商品につけられる環境ラベル

- ②生産、廃棄することで環境への負荷がある（廃棄時に環境の汚染がある）

▶自然エネルギーの利用、あるいは拡大につながるものを選ぶ
▶温暖化防止に関わるものを選ぶ
▶農薬が低減されているものを選ぶ

OTS（オーガニック・テキスタイル世界基準）



オーガニックのコットン、ウール、麻、絹などの原料から環境的・社会的に配慮した方法で作られた繊維製品につけられる認証ラベル

- ③エネルギーを無駄に消費している

知っておきたい言葉

- 3R
- 省エネ
- 低炭素社会
- オーガニック



3 生物多様性への配慮

背景と商品の選択方法

- ①多種多様な生物と共存できる持続可能な環境保全がされていない

▶生態系の保護、土壌や水資源の保全に配慮されているものを選ぶ



レインフォレスト・アライアンス認証

森林や生態系の保護、土壌や水資源の保全、労働環境の向上や生活保障など、厳しい基準を満たした農園にのみ仕様が認証され、認証農園から供給された原料を使用した製品につけられる認証ラベル

- ②大量の森林伐採、適正に管理されていない森林資源を使用している製品

▶無理な森林伐採による環境悪化をまねかないものを選ぶ



® FSC® 認証

適切に管理された森林の木材とその木材から作られた製品であることを証明する認証ラベル

- ③適正ではない魚類の捕獲量や幼魚の捕獲による水産資源の減少

▶海洋の自然環境や水産資源を守って捕獲された水産物を選ぶ



MSC 認証

持続可能で、環境に配慮した漁業で獲られた水産物「海のエコラベル」



ASC 認証

環境に負担をかけず地域社会に配慮して操業している養殖業に対する認証

知っておきたい言葉

- 海のエコラベル
- グリーンマーク

4 地域への配慮

背景と商品の選択方法

- ①人口減少や高齢化等による地域経済の弱体
▶地域の生産者の保護に配慮しているものを選ぶ
- ②災害による被災地の経済活動の停滞
▶被災地域への応援となる商品の購入
▶地元経済の活性化となるものを選ぶ
- ③長距離輸送による環境への負荷

知っておきたい言葉

- 地産地消
- アンテナショップ



まとめ 人と社会、地球環境、地域のことを考えて作られたものを購入、消費することでできる社会貢献、それが「エシカル消費」です。

消費生活展ねりま2019 知恵と工夫で ぐらしに笑顔

と き 6月15日(土)・16日(日)午前10時～午後4時

と ころ 石神井公園区民交流センター(石神井公園駅北口徒歩1分)

暮らしに関わるさまざまな問題について、ご家族で楽しみながら学べる消費生活展へぜひご来場ください。

※区報6月1日号でもお知らせします。 ※以下の内容は予定ですので、変更になる場合があります。

◆パネル展示と実演

食・環境・福祉などさまざまなテーマについて、ぐらしに役立つ情報を提供します。

◆手作りおもちゃコーナー

◆リサイクルバザー

◆クイズラリー

◆消費生活相談 など

◆おもちゃの病院

- ・こわれたおもちゃを無料で診断・修理(部品交換などは実費負担)
- ・当日受付10時～一人2点まで
- おもちゃの状態によってはお預かりすることがあります。

◆ステージイベント

15日(土)

- 11:00～ フードマイレージゲーム ねりま・ごみフォーラム
- 12:00～ ハーモニカ演奏 はーとふる.N
- 12:45～ エブロンシアター 東京第一友の会石神井方面
- 13:30～ 成年後見 寸劇とQ&A

NPO 法人 成年後見推進ネットこれから

- 14:15～ 合唱 東京保健生活協同組合石神井コーラス班

16日(日)

- 11:00～ 手話コーラス 手話サークル練馬こぶし会手話コーラス隊
- 11:45～ オカリナコンサート 新日本婦人の会こもれば
- 13:15～ ベリーナイス体操 東京保健生活協同組合有志

◆子ども劇場

15日(土)

- 11:00～ 人形劇「リサとイクとルーの冒険」ほか
関町リサイクルセンター

16日(日)

- 10:30～ 大型絵本の読み聞かせほか 石神井図書館
- 11:00～ 人形劇「ウィッキーとでかちゃんのなかよし」ほか

夢まあるく舎

牛乳パック10枚で トイレトーパー1個と交換します。

洗って開いて乾かしてお持ちください。
(アルミつき紙パックも可)
枚数はあらかじめ、かぞえて来てください。

鍋・フライパン回収

不用になったなべなどを
お持ちください。
(土鍋、ガラス製は不可)



◆講演会「人生100年時代 健康長寿の食生活」

講 師 NPO法人 日本成人病予防協会
健康管理士上級指導員 上原 道康 氏

日 時 6月16日(日) 午後1時30分～3時30分

会 場 3階 大会議室

定 員 100名(先着順)※保育室あり(事前申込)



お申込み・問合せ 電話またはメールで ①講演会名 ②住所 ③氏名(ふりがな)

④電話番号を5月21日(火)から6月14日(金)までに消費生活係へ

※保育室(1歳以上の未就学児対象)を利用したい方は、お子さんの氏名(ふりがな)・年齢を、6月5日(水)までにお知らせください。申込状況によってはご利用できない場合があります。

石神井公園
区民交流センター
(消費生活センター)

石神井公園ピアレスA棟2F・3F



〈お申込・問合せ〉経済課消費生活係(消費生活センター) ☎ 5910-3089 ✉ syohi@city.nerima.tokyo.jp

※【ぶりずむ】の録音版・点字版(視覚障害者用)を制作、貸出ししています。詳しくは「NPO法人点訳・音声訳集団 一歩の会」TEL・FAX 3577-5666